

マリアニスト家族世界評議会のクリスマスメッセージ

マリアニスト家族の皆さんへ



そして(羊飼いたちは) 急いで行って、マリアとヨセフ、また飼葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。(ルカ 2・16)
しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。(ルカ 2・19)

マリア様、あなたは何を思い巡らしているのですか？

(マリア) “ここにいるこの子を御覧なさい。余りにも弱く、頼り切っており、完全に見捨てられています。自分では何もできないが、この子は創造主なる神で、わたしはすべてを彼から頂いています。

ここに、わたしのそばにいる夫ヨセフは、敏感で、気配りの行き届いた方です。静かでありながら、関わりきっています：この子のためなら、わたしたち(二人)がなす家族のためなら、何時でも何にでも完全に対応してくれ、すべてにおいて(何が起こっても)一緒に居たい方です。愛をもってわたしたち二人は、自分たちの生活を一変させるこの神秘(子)を迎え入れます。

同様に、最初こちらに見えた羊飼いたちをも御覧なさい。誰も注意を払ってくれない、無視された彼らは、ここにいます；彼らは、神が自分たちに明らかにしたことを述べ伝えます。世に良き知らせを伝えるために、彼らは喜びと誇りをもって、その尊厳、その自尊心が新たにされた状態で帰って行きます。

また、(あの)星を探し求め、東方からきたこれらの博士たちがここにいます；学問を通じて探し求めたものを、この子において発見しました。

彼らは、わたしと共に、われらの平和、われらの喜び、われらの光であるこの新生児をじっと見つめています：この子はわたしたちの心、わたしたちの人生を変え、わたしたちをこの新しい共同体を形成するよう招いています。この共同体には、すべての人、貧しい者と富む者、学問のある者と学問のない者、諸文化と諸国、老年、壮年、若者も皆一緒に加わることができます。

そうです、“ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。一人の男の子がわたしたちに与えられた”(イザヤ 9・5)!

あなたは今日、個人的に、また、共同体と共に、どのように彼(この子)を迎えますか？自分の生活のどの場を彼に与えたいと思いますか？

あなたが生きている世界は苦しんでいます；不正義と戦争の被害者の叫び、搾取された児童の叫び、レイプ被害にあった女性たちの叫び、

そのような叫びをどう聞き取ったらいいかご存じですか？羊飼いたちがするように、どのようにして起き上がり、光と慰めを頂いたらいいかをご存じですか？

無関心と相対主義の渦中であって、博士たちのように、彼の星を探し求める方法を、平和の君を認める術をご存じですか。新しい道に派遣される心構えをご存知ですか？

あなたは、次のような新しい共同体を作る準備ができていますか：
貧しい者及び小さな者が最初になり、その声が聞き入れられる共同体、
正義と平和に飢えている者が慰められる共同体、
神を探し求める者には、神を見出すことができる共同体、
新世界の到来を見る者が生まれてくる共同体。

羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使たちの話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。(ルカ 2・20)

2009年11月13日